

幼稚園の教育目標

心情豊かな優しい子ども	自分で考え行動できる子ども	元気に活動するたくましい子ども
-------------	---------------	-----------------

1、本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- | |
|---|
| ① 教員の資質向上のための工夫。(研究を深める。) |
| ② 当園の教育など、外部へのアピールの工夫。(HP 等の活用。Instagram。新聞掲載依頼。) |
| ③ 保護者との連携の工夫。(連絡アプリおうちえんの活用。G メールの活用。) |
| ④ 地域との関わりの工夫。(小学校連携・中学校や高校との関わり。) |

2、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	結果	理由	学校関係者評価
1	保育の計画性	A	行事や日々の保育について、ねらいを明確にし、職員間で考えたり話し合ったりしながら工夫した。行事については、保護者の参観人数を増やすなど、教育をご覧いただく枠を広げた。	A
2	保育のあり方 幼児への対応	B	臨床心理士の力を借りながら、一人ひとりの傾向や特徴をつかみ、職員間で情報を共有し、丁寧な対応を心掛けた。	A
3	教師としての資質、能力、 良識、適正	B	職員が、積極的に研修会に参加する機会を大切にした。また、研修内容を伝達する機会も設けた。職員間で日々の保育を振り返り、話をする機会を大切にしながら、チーム保育を意識した。 今後も、個々の職員が資質向上を目指していけるようにしていきたい。	B
4	保護者への対応	B	連絡アプリのおうちえんを活用して、保護者の方に子どもたちの様子を伝えていった。G メールも活用し、保護者の方がいつでも連絡できるよう工夫した。また、必要に応じて面談を行い、保護者の方とのコミュニケーションを大切にした。	A
5	地域の自然や社会との かかわり	B	参観や意見交換会など、小学校との交流の機会を設けた。今後も、小学校との接続教育を意識して交流していきたい。また、積極的に園の教育に対して、新聞社の取材を依頼するなど情報発信をした。	A
6	研修と研究	A	今年度も、思考と育ちあいをねらいとし、研究を深めながらごっこ遊びを行った。卒園遠足も同じねらいで内容を工夫するなど、研究を更に広げていった。	A
7	外部アンケート	A	心の教育が家庭での子どもたちの姿にも表れているなどのご意見をいただいた。おうちえんの配信も喜ばれている。	A

* 結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが成果が十分に出ない D 取り組みが不十分

4、本年度の重点課題の総合的な評価結果

- ・今年度もチーム保育に心がけ、子どもたちの育ちを大切に考えながら一年を過ごした。小学校との意見交換会なども実施し、小学校との接続教育を意識した。
- ・不適切保育等の報道がされる中、おうちえんなどを活用して保護者の方へ情報発信をし、保護者の方からの質問等に対しても丁寧に対応した。
- ・つぼみっこ、こひつじサークルなど子育て支援も積極的に行った。
- ・行事等の取材を新聞社に依頼するなど、外部への情報発信も積極的に行った。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
地域（自然）との関わりと情報発信	<ul style="list-style-type: none">・小学校との接続教育を意識しながら、今後も、小学校との意見交換の場などを大切に考えていきたい。・子育て支援についてはこひつじサークルとつぼみっこ、それぞれのねらいに対して内容を工夫し、たくさんの方に利用していただけるよう情報発信の工夫をしていきたい。・ホームページやインスタグラムなどの情報発信の工夫もしていきたい。
教員の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・チーム保育を大切にしながら、職場の良い雰囲気作りに心掛けていく。教職員の個々の良さをお互いに認め合うことも大切にしていきたい。・思考と育ちあいをねらいとしての活動について研究を継続していきたい。・IT を利用しての職場環境の改善にも取り組んでいく。

6、学校関係者評価委員からのコメント

- ・少しずつ、幼稚園が感染症対策を工夫しながら、行事の時の保護者の参加の仕方や参加人数を考えてくれていた。
- ・先を見通しての子どもたちの育ちを考えた保育の工夫をしてくれていたと思う。
- ・子育て講演会は、子育ての参考になった。
- ・おうちえんの配信は、子どもとの話し合いのきっかけにもなり、楽しみにできた。
- ・今後も、心の教育を大切に、子どもたちを育ててほしい。